



東京大学での所属学部・研究科等:	工学部	学年(プログラム開始時):	学部3
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	国立台湾大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
	1. 研究職		2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
	3. 公務員		4. 非営利団体
	<input checked="" type="checkbox"/> 5. 民間企業(業界:)		6. 起業
	7. その他()		

派遣先大学の概要

国立台湾大学は台湾でトップレベルの学生が集う国立大学である。戦前は旧帝国大学の一つであり、雰囲気は東京大学と似たものを共有している。

留学した動機

春休みと4年生のSセメスターで時間的に余裕が出来そうだったこと、そして存在感を増す中華圏での生活を体験してみたいという動機から

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2017年	学部3	年生の	S2	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2017年	2月~	2017年	6月	年時に出発

④留学後の授業履修:	2017年	学部4	年生の	A1	学期から履修開始	
⑤就職活動の時期:	2016年	学部3	年生の	12月頃に	行った	
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位				単位	
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位				単位	
	留学後の取得(予定)単位				単位	
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2014年		4月入学	2018年	3月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:			4年	0ヶ月間		
⑨留学時期を決めた理由:						
春休みと4年生のSセメスターと複合して大きな時間が取れそうであったこと。 またカリキュラム上余裕があったこと						
留学の準備						
①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)						
事務局の方の指示に従っておけば何か困るということは発生しなかった。 手続きに時間を要するもの(先生の推薦書など)は早めにめどをつけた方がよい。						
②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)						
ビザはビジターのビザだった。何度も出入国できるものと一度しか出入国できないものがあるが、 一次帰国などがあるので何度も出来るマルチビザをおすすめする。						
③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)						
意外にすぐに受信できなかつたり、検査結果が出るまで時間がかかる場合があったので、注意が必要だと思う。						
④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)						
少しややこしかったが、事務局の方の指示に従っておけば大丈夫だと思う。						
⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)						
4年のSセメスターに行われる領域プロジェクトという必修について、留学申請前に先生に相談し、 遠隔実施可能との判断を仰いでから申請を行った。台湾でGoogleHangoutを利用してゼミに参加していた。						
⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)						
英語はIELTS6.5 中国語は留学決定後に駒場の中国語の先生にお願いして 一学期間中国語の駒場の授業に混ぜて頂いていた。						

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

台湾は大抵日本のものがあるので特にない。
日本以上にコンビニが密集している。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
General Chinese Language Course (II)	3				
Chinese Enhancing Course (II)	1				
Market and Economic Development of Taiwan (II)	2	●			
Operations Management	3	●			
Managing Strategic Alliances from a Global	3	●			

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

中国語とその他経済経営関連の授業を半分ずつ取ろうと考えた。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

月曜日から木曜日まで授業を取り、金曜日は休みにしていた。
休日は課題などをこなしていた。

④学習・研究面でのアドバイス

授業は授業への参加を要求するものが多く、積極性が求められた。

⑤語学面での苦勞・アドバイス等

事前に少し勉強していたので伸びが大きかったと思う。
恥ずかしがらず、話してみても間違えていたら友達に直してもらおうくらいの心意気の方が伸びた

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

大学近くの寮に住んでいた

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

台湾は基本的に蒸し暑い。大学の周りは賑やかな学生街で、地下鉄が通っている。
お金は新生銀行の口座からおろしていた

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気がつけた点など)

治安や健康上の問題は生じなかった。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

家賃:25000円
食費:25000円
交通費:1500円

・留学に要した費用総額とその内訳

事前準備(保険、健康診断など):10万円
滞在費月約5万

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

東京大学短期超短期海外留学奨学金 月6万円

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

ボランティアの中国語サークル
長期休暇は台湾の別の都市へ旅行した。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

留学生に一人担当でお世話をしてくれる現地の大学生ボランティアがっていた。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

大きな体育館や24時間空いている自習室など設備として不満はなかった。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

日系の会社を受けることは出来なかった。しかし、内定を持っていたので留学中に就職活動のために帰国する、などのようなことはしなくても良かった。

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

--

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

--

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

	1. 研究職
	2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:)
	3. 公的機関(機関名:)
	4. 非営利団体(団体名又は分野:)
	✓ 5. 民間企業(企業名又は業界:コンサルティング)
	6. 起業(分野:)
	7. その他()

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

技能的側面から言えば、中国語を学び理解できるようになったので収穫はあった。
それ以上に今回の留学を通して、語学をはじめとして、もっと勉強していかなければならないとモチベーションを得た。

②留学後の予定

卒業論文と大学院の入試

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

考えてから行動に移すことはハードルが高いですし、やることも多いですが、一旦始めてしまえばあっという間に物事は進んでいきました。行って後悔することはまずないので、最初に思い切って決めてみてください。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

--

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

--